

—概要—

2000年4月より、病院運営の一環として、「医薬分業の徹底と薬剤科病棟業務の充実」に基づき、全面院外処方せん発行を行い、2021年の月平均は93.3%を達成しています。薬剤管理指導業務における服薬指導実施患者数及び指導件数については、月平均の指導患者数740名、指導件数895件(退院加算239件)と順調な推移を示しています。

また、無菌製剤処理加算の施設基準を2001年3月に取得し、TPN製剤の調製を行っていますが、2010年8月より一般の点滴を含めた全ての注射薬の無菌混合調製を行っています。2021年における混合調製の実績として、調製本数は月平均846本、年間10,152本となっています。

次に、外来の抗がん薬の混合調製を2002年8月より開始し、2004年12月より外来・入院の全患者について、抗がん薬のレジメンの一元管理と調製を実施しています。2021年における実績は月平均384名、年間4,608名の患者に調製を行い、調製本数は月平均542本、年間6,504本となっています。また、2014年4月より外来がん治療センターにがん薬物療法認定薬剤師を配置し、がん患者指導料を月平均約44件算定しています。

さらに、2008年4月より、全ての入院患者において薬剤師による持参薬の鑑別業務を開始し、2018年4月からは、患者サポートセンターに薬剤師を常駐し、外来の入院予定患者にも実施しています。2021年における実績は月平均625人、3,488剤となりました。

薬剤科では、調剤、注射薬の無菌混合調製や服薬指導等のさまざまな業務を行っています。特に、2012年度の診療報酬の改訂により、病院薬剤師の念願であった病棟薬剤業務実施加算が新設されたのを受け、全病棟に病棟専任薬剤師を配置し、オーダ入力支援等の新しい業務を実施することにより、算定を行っています。

厚生労働省医政局通知「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」が発出され、薬剤師がチーム医療に参画することが求められており、当院では感染対策チーム(ICT)、栄養サポートチーム(NST)、褥創対策チーム、緩和ケアチームに積極的に参加し、医師、看護師等と共に多職種で病棟ラウンドを実施しています。特に抗菌薬適正使用支援チーム(AST)では、専任薬剤師を配置し、薬の専門家として積極的に適正使用を推進しています。また、生活習慣病予防教室にも参加し、薬剤師が薬に関する患者向けの講習会を行っています。

薬剤科では今後とも、質の高い病棟薬剤業務の実践と有効かつ安全な薬物療法を提供するため、以下の4項目を基本的な理念としています。

1. 薬の専門家として、患者様にとって有益な薬物療法を提供する。
2. 薬によるインシデント・アクシデントを減少させ、安全な薬物療法を提供する。
3. 臨床薬剤師としてチーム医療に貢献する。
4. 薬剤師の職能を高めるため、研究心を持って日々努力する。

—研究業績数—

	2011年度 (平成23年度)	2012年度 (平成24年度)	2013年度 (平成25年度)	2014年度 (平成26年度)	2015年度 (平成27年度)	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度 令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	計
英文原著、 総説、著書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和文原著、 総説、著書	0	2	3	1	2	0	1	1	2	0	12
国際学会報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国内学会報告	2	4	3	1	4	3	1	1	3	3	25
研究会・講演会	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	3
学術講演・講義	1	9	4	0	3	4	3	0	0	0	24
院内研究活動	1	1	2	1	4	3	5	5	3	9	34
座長	0	0	0	0	2	3	3	3	3	0	14
計	4	16	12	3	15	14	14	10	11	13	112

研究業績：診療局 薬剤科

平成23年度

(1) 学会研究会報告 (2011.4～2012.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	注射薬無菌混合調製業務の評価	○西村亜希子 西井拓人 北島正大 高橋和代 酒井直子 河津敏明 泉原里絵 北庄司敦久 若林里絵 安井結香里 新崎雅未 宮本紅喜 森朝紀文	第33回日本病院薬剤師会近畿学術大会	2012.1.21
2	医師・看護師の負担軽減のためのオーダー代行入力を試み	○長野知津子 馬場洋子 北島正大 松浪美和 中川直樹 射手矢弥生 出山恭隆 森朝紀文	第33回日本病院薬剤師会近畿学術大会	2012.1.22

(2) 学術講演 (2011.4～2012.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	ICTラウンドの実際～症例を含めて～	森朝紀文	大阪府病院薬剤師会、平成23年度、第1回チーム医療推進研修会	2011.6.21

(3) 院内研究活動 (2011.4～2012.3)

番号 整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	医薬品の安全管理～最近のエラー事例～ (医療安全研修会)	森朝紀文	2012.2.14

平成24年度

(1) 原著、総説、著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	病棟常駐をしなくては！	森朝紀文	O.H.P.news	Vol.54 No.4	1	2012.4.15
2	りんくう総合医療センターにおける薬剤科業務の変遷～オーダー代行入力を中心に～	森朝紀文	全国自治体病院協議会雑誌	第51巻 第8号	75-78	2012.8

(2) 学会研究会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	薬剤師による処方入力支援	森朝紀文	第34回日本病院薬剤師会近畿学術大会シンポジウム1「広げよう・深めよう病棟薬剤業務」	2013.1.27
2	感染対策防止加算1認定施設における薬剤師の役割	泉原里絵	第28回日本環境感染学会総会・学術集会	2013.3.1
3	異なる医療圏にある感染対策防止加算1施設の抗菌薬使用状況の比較検討	宮本訓子	第28回日本環境感染学会総会・学術集会	2013.3.1
4	当院におけるMRSA菌血症の治療成績に対する検討	宮本紅喜	第28回日本環境感染学会総会・学術集会	2013.3.1


(3) 学術講演

番号 整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	病棟薬剤業務実施加算取得への取り組み (処方代行入力を中心に)	森朝紀文	第54回全国都市立薬局長協議会講演会(横浜)	2012.7.6
2	当センターにおける抗がん薬管理	森朝紀文	Symposium of Anti-Cancer drug risk management in Osaka(SACRA)2012	2012.9.6
3	病棟薬剤業務実施加算取得への取り組み～ 処方代行入力を中心に～	森朝紀文	大阪府病院薬剤師会薬剤業務講習会	2012.9.7
4	薬剤師による処方入力支援	森朝紀文	平成24年度第4回阪大病院薬剤部長会	2012.10.23

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
5	STOP! Medikation Fehler ~ 医薬品による事故をなくすために ~	森朝紀文	第4回泉佐野糖尿病メディカルスタッフセミナー	2012.11.10
6	薬に関する知ってほしいこと	森朝紀文	一般社団法人りんくう国際医療通訳翻訳協会(IMEDIATA)ワークショップ	2013.1.20
7	当センター薬剤科業務の変遷 ~ 処方入力支援を中心に ~	森朝紀文	関西注射剤実践懇話会、第20回学術集会	2013.2.16
8	お薬と正しく付き合う方法	森朝紀文	近畿中国帰国者支援・交流センター「病院で役に立つ知識講座」	2013.2.17
9	りんくう総合医療センターにおける病棟薬剤業務と薬一薬連携	森朝紀文	第158回泉佐野・泉南薬剤師会合同勉強会	2013.3.14

(4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	医療安全研修会「医薬品の安全管理」	森朝紀文	2013.2.13

 平成25年度

(1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	薬物療法への介入に向けた処方入力支援	森朝紀文	月刊薬事	第55巻 第6号	71(971) - 75(975)	2013.6
2	薬剤師にはマネジメント能力が必要	森朝紀文	O.H.P.news	Vol.55 No.7	1	2013.7.15
3	ファーマシーマネジメントの実践	森朝紀文	全国自治体病院協議会雑誌	53(3)	80-82	2014.3

(2) 学会研究会報告


番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	救命救急センターにおける薬剤師による副作用調査(3)	丸田栄一	第23回日本医療薬学会年会	2013.9.21
2	当院における感染性心内膜炎に対するゲンタマイシン使用と腎障害の検討	北島正大	第29回日本環境感染学会総会・学術集会	2014.2.14
3	メロペネム使用適正化に向けての投与状況の把握と検討	泉原里絵	第29回日本環境感染学会総会・学術集会	2014.2.14

(3) 学術講演

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	循環器病棟における病棟薬剤業務	森朝紀文	第12回泉州循環器カンファレンス	2013.8.31
2	脳外科病棟における病棟薬剤業務	森朝紀文	第9回南泉州脳卒中診療研究会	2014.2.15
3	抗菌薬の適正使用	森朝紀文	第32回南大阪呼吸器レクチャー	2014.2.20
4	くすりを安全に使用するために	森朝紀文	一般社団法人りんくう国際医療通訳翻訳協会(IMEDIATA)「医療現場を知ろう!」ワークショップ	2014.3.2

(4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	市民健康講座「お薬を安全に使用するために」	森朝紀文	2013.11.16
2	医療安全講習会「医薬品の安全管理」	森朝紀文	2014.1.31

 平成26年度

(1) 原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	南泉州地域における薬薬連携	森朝紀文	大阪府薬雑誌	65(11)	4-5	2014.11

(2) 学会研究会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	2つの救命救急センターにおける薬剤師による抗生剤の副作用比較	丸田栄一 森朝紀文	第36回日本病院薬剤師会近畿学術大会	2015.1.25

(3) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	医療安全講習会「STOP! Medikation Fehler」	森朝紀文	2015.2.4

平成27年度

(1) 和文原著、総説、著書

番号	題名	著者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	社会に貢献する薬剤師をめざして	森朝紀文	大阪府病院薬剤師会雑誌	Vol.57, No.7	3	2015
2	病棟薬剤業務活動と実績	森朝紀文	大阪府病院薬剤師会雑誌	Vol.57, No.7	13-14	2015
3	薬業連携における残薬調整による医療費削減効果の検討	森朝紀文	全国自治体病院学会雑誌	第55巻,3号	396-399	2016.03

(2) 国内学会報告

番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	薬業連携における残薬調整による医療費削減効果の検討	森朝紀文 中川直樹 泉原里絵 西井拓人 松山達登 中川貴弘	第54回全国自治体病院学会 in函館	ポスター	2015.10.08
2	地域連携病院における残薬調整による医療費削減効果の検討	森朝紀文 中川直樹 泉原里絵 西井拓人 松山達登 中川貴弘	第25回医療薬学会年会	ポスター	2015.11.22
3	地域連携病院における残薬調整による医療費削減効果の検討	森朝紀文 野上浩貢 南尚孝 土井義仁 池喜章 梅田卓也	第9回日本医療マネジメント 学会大阪支部学術集会	口演	2016.02.27
4	CMC含有ジメチルイソプロピルアズレン軟膏の調整と運用	河津敏明 森朝紀文 泉原里絵 西村亜希子 松浪美和 原義浩 松山達登 服部亮 高橋敏枝	第13回日本褥瘡学会近畿地 方学術集会	ポスター	2016.03.13

(3) 学術講演・講義

番号	演題	発表者	学術講演会名	年月日
1	薬に関する基礎知識	森朝紀文	大阪大学医療通訳養成コース	2015.07.11
2	当センター薬剤科業務の変遷	森朝紀文	泉佐野・泉南薬剤師会第182回合同勉強会	2015.09.17
3	ICT担当薬剤師業務について	泉原里絵	平成27年度第4回合同カンファレンス	2016.03.15

(4) 院内研究活動

番号	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	大動脈解離	北庄司敦久	多職種カンファレンス	2015.8.26
2	経静脈栄養に用いる輸液の基礎	北庄司敦久	NST勉強会	2016.1.21
3	当センター薬剤科業務の変遷と地域連携病院による残薬調整	森朝紀文	多職種カンファレンス	2016.2.3
4	医薬品による事故をなくすために～過去の事例から学ぶ～	森朝紀文	医療安全講習会	2016.2.25

(5) 座長

番号	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年月日
1	循環器チーム	森朝紀文	2015年度第1回チーム医療推進研修会(大阪府病院薬剤師会)	2015.6.18
2	感染領域におけるチーム医療の実践	森朝紀文	2015年度第3回チーム医療推進研修会(大阪府病院薬剤師会)	2016.3.11

平成28年度

(1) 国内学会報告

番号	演題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	薬業連携における残薬調整による医療費削減効果	森朝紀文	第2回日本医薬品安全性学会 学術集会(シンポジウム)	口演	2016.7.24
2	救命救急病棟での薬剤師による情報提供の有用性についての検討～注射薬配合変化に関して～	中川貴弘 島田弘子 森朝紀文 萩原文子 河野純子	第26回日本医療薬学会年会	ポスター	2016.9.18
3	大腸癌術後XELOX療法における薬剤師の診察前面談・外来服薬指導がRelative dose intensityに与える効果の検討	西井拓人 中川直樹 中川貴弘 森朝紀文	日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2017	ポスター	2017.3.18

(2) 研究会・講演会

番号	演題	発表者	研究会名	年月日
1	薬業連携における残薬調整による医療費削減効果～調剤薬局との比較～	森朝紀文	第38回南大阪呼吸器レクチャー	2017.2.9

(3) 学術講演・講義


番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	薬に関する基礎知識	森朝紀文	大阪大学医療通訳養成コース	2016.6.25
2	化学療法 きほんの「き」	西井拓人	大阪府済生会富田林病院講演会	2016.8.15
3	薬薬連携における残薬調整による医療費削減効果	森朝紀文	大阪府病院薬剤師会 2016年度第2回 チーム医療推進研修会	2016.11.30
4	薬薬連携における残薬調整による医療費削減効果 ～調剤薬局との比較検討～	森朝紀文	大阪府病院薬剤師会第1支部 2016年 度第2回研修会	2017.3.13

(4) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	治験について	伊藤健二	多職種カンファレンス	2016.9.7
2	がん化学療法概論	西村亜希子	多職種カンファレンス	2017.2.1
3	医薬品による事故をなくすために～過去の事例から学ぶ～	森朝紀文	医療安全講習会	2017.3.23

(5) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	集中治療室におけるチーム医療の実践	森朝紀文	2016年度 第1回チーム医療推進研修会 (大阪府病院薬剤師会)	2016.7.22
2	2025年へのカウントダウン～薬剤師の新たな役割 ～(ランチョンセミナー)	森朝紀文	第38回日本病院薬剤師会近畿学術大会	2017.2.27
3	治験チーム(研究倫理を中心に)	森朝紀文	2016年度 第3回チーム医療推進研修会 (大阪府病院薬剤師会)	2017.3.29

 平成29年度

(1) 和文原著、総説、著書

番号整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号)	ページ	年
1	診療報酬の改定に思う	森朝紀文	大阪府病院薬剤師会雑誌	Vol.59, No.11	3	2017

(2) 国内学会報告

番号整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	当院における国際渡航ワクチン外来の 現状	森朝紀文 泉原里絵 宮本紅喜 宮本訓子 小垣 睦 伊藤健二 中川貴弘 守谷美輝 三島伸介 南谷かおり	近畿薬剤師合同学術大会2018	ポスター	2018.2.3

(3) 研究会・講演会

番号整理	演 題	発 表 者	研 究 会 名	年 月 日
1	当院における残薬問題の現状と課題 ～循環器病薬を中心に～	森朝紀文	第14回泉州循環器カンファレンス	2017.7.15

(4) 学術講演・講義

番号整理	演 題	発 表 者	学術講演会名	年 月 日
1	病院薬剤師業務の現状	森朝紀文	泉佐野・泉南薬剤師会第201回合同勉強会	2017.7.13
2	当院の薬剤科業務の変遷	森朝紀文	2017年度第7回大阪府下市立病院薬剤部長会	2017.10.06
3	病院薬剤師業務の変遷	森朝紀文	2017年度大阪薬科大学キャリア教育セミナー	2017.12.26

(5) 院内研究活動

番号整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	当院の心筋梗塞の患者様への処方薬について	上田祥子	多職種カンファレンス	2017.6.7
2	糖尿病患者さんのために～多職種からの全力投球～	原 義浩	多職種カンファレンス	2017.6.27
3	悪阻・切迫早産に使用される主な薬剤について	若林里絵	多職種カンファレンス	2017.9.6
4	褥瘡に使用する薬剤について	河津敏明	多職種カンファレンス	2017.12.6
5	医薬品による事故をなくすために～過去の事例から学ぶ～	森朝紀文	医療安全講習会	2018.3.19

(6) 座長

番号整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	災害医療におけるチーム医療の実践	森朝紀文	2017年度大阪府病院薬剤師会第1回チーム医療推進研修会	2017.7.10
2	2018年度診療報酬改定について	森朝紀文	2017年度全国自治体病院協議会薬剤管理研修会	2017.11.17
3	再考！病棟業務を見直そう！	森朝紀文	2017年度大阪府病院薬剤師会第3回チーム医療推進研修会	2018.3.23

平成30年度

(1) 和文原著, 総説, 著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	病院・診療所薬剤関連の主要改定項目について	森朝紀文	全国自治体病院協議会雑誌	第57巻 第5号:26-29, 2018

(2) 国内学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	集中治療室領域におけるRefeeding Syndromeに関連した低リン血症の発生リスクと影響因子の探索	中川貴弘, 北庄司敦久, 西井拓人, 若林里絵, 森朝紀文, 泉野浩生, 小野恵	第28回日本医療薬学会年会	口演	2018.11.24

(3) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	お薬ってどうして効くの? 作用機序から薬効を考えてみよう(抗凝固薬について)	北庄司敦久	多職種カンファレンス	2018.4.4
2	抗MRSA薬バンコマイシンとTDM	宮本訓子	多職種カンファレンス	2018.6.6
3	添加物が粉砕や簡易懸濁に及ぼす影響	山地亜希	多職種カンファレンス	2018.9.5
4	尿路感染症に使用される抗菌薬について	松本光司	多職種カンファレンス	2019.3.6
5	医薬品による事故をなくすために～過去の事例から学ぶ～	森朝紀文	医療安全講習会	2019.3.11

(4) 座長

番号 整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	改訂モデル・コアカリキュラムによる実務実習	森朝紀文	平成30年度大阪府病院薬剤師会第1回チーム医療推進研修会	2018.7.24
2	管理者育成のマネジメント	森朝紀文	平成30年度全国自治体病院協議会薬剤管理研修会	2018.11.16
3	病院薬剤師に必要な労務管理の基礎知識～働き方改革に対応するために～	森朝紀文	平成30年度大阪府病院薬剤師会第3回チーム医療推進研修会	2019.3.4

平成31年度・令和元年度

(1) 和文原著, 総説, 著書

番号 整理	題 名	著 者	著書・誌名	巻(号):ページ,年
1	病院薬剤師を確保するために	森朝紀文	大阪府病院薬剤師会雑誌	Vol.62, No.3: 3, 2020
2	処方箋と疑義照会	中川貴弘	薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト	2020年版: 63-66, 2020

(2) 国内学会報告

番号 整理	演 題	発 表 者	学 会 名	発表形式	年 月 日
1	アコチアミドが重症外傷患者の胃内容物停滞に対し著効した1症例	中川貴弘	第22回日本臨床救急医学会総会	口演	2019.6.1
2	当院におけるナルデメジン使用状況調査から考察する継続投与に影響を及ぼす因子とそこから考えられる適正使用に関する検討	北庄司敦久, 中川貴弘, 若林里絵, 西井拓人, 森朝紀文	第13回日本緩和医療薬学会年会	ポスター	2019.6.2
3	全国自治体病院における薬剤師の地域偏在の現状～平成30年度薬剤管理実態調査結果より～	喜古康博, 中島太一, 上野英文, 生島五郎, 森朝紀文, 室井延之	第58回全国自治体病院学会	ポスター	2019.10.24

(3) 院内研究活動

番号 整理	演 題	発 表 者	研究活動名称	年 月 日
1	クロストリディオイデス・デフィシル感染症について	泉原里絵	ICT/AST研修会	2019.6.19
2	血液をさらさらにする薬について	藪内新平	多職種カンファレンス	2019.9.18
3	院内製剤とは	越山晶弘	多職種カンファレンス	2020.3.4

(4) 座長

番号 整理	セッション名	司会者名	学会・研究会名	年 月 日
1	講演IV「あなたの“振る舞い”が患者を救う～ノンテクニカルスキルの重要性～」	森朝紀文	2019年度全国自治体病院協議会薬剤部会研修会	2019.6.7
2	一般講演「薬剤師の入退院支援の実例～具体的に何が出来るか～」	森朝紀文	2019年度大阪府病院薬剤師会第1回チーム医療推進研修会	2019.7.23
3	シンポジウム「患者の暮らしにつなぐ入院支援業務の新たな展開」	森朝紀文	第41回日本病院薬剤師会近畿学術大会	2020.3.15

令和2年度

(1) 国内学会報告

番号 整理	演 題	発表者	学会名	発表形式	年月日
1	持続的血液浄化施行中のバンコマイシンの血中濃度測定のタイミングに関する検討	小林洋平	第30回日本医療薬学会年会(Web開催)	ポスター	2020.10.24
2	集中治療領域での栄養療法における薬剤師の介入効果についての検討	中川貴弘	第30回日本医療薬学会年会(Web開催)	口演	2020.10.24
3	シンポジウム緊急企画「新型コロナウイルス感染対策」 「当院におけるCOVID-19対応(中等症・重症患者)」	森朝紀文	第42回日本病院薬剤師会近畿学術大会 (Web開催)	口演	2021.1.30

(2) 院内研究活動

整理番号	演題	発表者	研究活動名称	年月日
1	糖尿病センターにおける薬剤師の役割	伊藤健二	多職種カンファレンス	2020.7.30
2	抗がん剤と制吐剤	中川直樹	多職種カンファレンス	2020.8.5
3	当院でのCOVID-19疑い症例と抗菌薬	泉原里絵	第1回院内感染対策研修会(e-learning)	2020.9
4	災害時におけるお薬の注意点	伊藤健二	第4回世界糖尿病dayりんくう健康フェスタ	2020.10.2-13
5	サプリメントについて	高橋和代	多職種カンファレンス	2021.1.6
6	医薬品による事故をなくすために～過去の事例から学ぶ～	森朝紀文	医療安全推進研修会(e-learning)	2021.2
7	抗MRSA薬について	泉原里絵	第2回院内感染対策研修会(e-learning)	2021.3
8	若年重症心不全患者への退院支援	藪内新平	多職種カンファレンス	2021.3.3
9	PBPM～WFコントロール～	藪内新平	心臓センターカンファレンス	2021.3.24

(3) 研究会・講演会

整理番号	演題	発表者	研究会名	年月日
1	胃がん・大腸がんの薬物治療	西井拓人	泉佐野薬剤師会第229回研修会	2020.9.10